



2015年司法試験合格者  
(2014年予備試験在学中合格)

T.Oさん

- 学部2年時に原孝至・基礎講座を受講
- 東京大学法学部4年次在学中に予備試験合格



### 原基礎講座は答案を書くことを意識した学習で、 短期間で効率的に基礎を固められる。

私は大学2年生の春に原先生の基礎講座を受講しました。私が今振り返ってみて原先生の基礎講座を受講して良かったと考えるのは以下の点にあります。

第一に、原基礎講座の授業の方式です。他の予備校では各法律の条文やその趣旨、判例について順に授業していくというのが通常の基礎講座の授業の進め方ですが、原基礎講座ではまず各授業で題材となる事例問題が用意されており、それを解くためにはどのような知識が必要か、どこが問題となっているのかということを考える枠組みで授業がなされます。そのため**法律の勉強を始めたばかりのときから答案を書くということを意識した学習ができ**、各授業で何が重要なポイントであるのかを考えながらメリハリのついた学習ができました。

第二に、原基礎講座では難解な学説の紹介や高度な判例分析はなされず、各法律の重要な論点や体系的枠組みを短期間で理解するにはどうすべきかという観点から授業がなされるということです。原基礎講座は授業の回数が他の予備校の基礎講座に比べて少なく、短期間で六法と行政法の基礎を学習できる講座になっています。これについては内容として不十分であるという考えもあるかもしれませんが、初学者のときから細かい知識や難解な学説を勉強しようとすると、かえって混乱する恐れがあり、基礎講座としてはむしろ体系的枠組みやいわゆる通説を理解することの方が重要なのではないかと思います。**原基礎講座では基礎的な事項や重要な論点を少ない授業回数で短期間のうちに授業してくださったので、効率的に六法と行政法を学ぶことができました。**そのため、基礎講座を受けた後に基本書を読んだり大学の授業を受けたりしてより深い学習をするための基礎をしっかりと固めることができましたと思います。

第三に原先生の授業の分かりやすさです。**原先生の説明の仕方はとても分かりやすく、複雑な部分については丁寧に板書して解説して下さるので**、スムーズに基本事項について理解することができました。また手続法の授業では実際の訴状や準備書面などのサンプルを用いて授業してくださったため、具体的な訴訟のイメージをつかむことができ、実務も意識した学習をすることができたと思います。

以上が私が原基礎講座を推薦する主な理由です。原基礎講座は短期間で効率的に六法と行政法の基礎を学ぶことができるという意味でも、基本事項を体系的に学ぶことができるという意味でも、優れた講座であると思います。



2015年予備試験合格者  
(学部在学中合格)

H.Mさん

- 学部1年時に原孝至・基礎講座を受講
- 東京大学法学部3年次在学中に予備試験合格



### 原基礎講座は、基礎力を効率よく最小限の時間で 身につけられる講座

私は大学1年生の夏から原基礎講座を受講し、大学3年次の予備試験に最終合格することができました。私が原基礎講座を推薦する理由は、原基礎講座が**法律を学習していくための基礎力を効率よく最小限の時間で提供してくれたと考える**からです。

原基礎講座の大きな特徴はそのライトな講座設計にあると思います。短期合格を目指すうえで、1周目をどれだけスピーディに回せるかというのは非常に重要ですが、原基礎講座では201時間(※2013年受講当時)という短い時間で基本7法について1周することができます。もっとも、**短時間であるから内容が不足しているということはありません。**講義では難解な議論や瑣末な知識については扱われませんが、基本的な条文、判例、通説については噛み砕いた説明がなされます。難解な議論や些末な知識を扱わないことを不安に思われるかもしれませんが、入門段階で基礎を固めぬまま発展的な学習をするより、基礎的な部分を十分に固めた後に発展的な学習をする方がはるかに効率的ですので、基礎をスピーディに理解させるこの講座設計は非常に合理的であると思います。実際私は、この講義によって、基本書や演習書を読み解くうえでのコアとなる部分についてはおおよそ理解することができ、その後発展的な学習をする十分な基礎が身に付いたと考えています。

もう1つの大きな特徴は、扱う具体的事例の豊富さです。どうしても入門段階においては、一人で基本書の抽象的記述を読んでいるだけでは具体的なイメージがわからないということになりがちですが、**原基礎講座では多くの事例問題を用いるため、イメージがしやすく、記憶にも残りやすい効果的なインプットを行うことができました。**また、最終的には具体的な事例問題に対して、自分の言葉で法律論を示す必要があるため、アウトプットという面でも具体的事例を用いるということは理にかなっていると感じました。

以上のように、原基礎講座は、そのライトな講座設計、事例の豊富さという点で、入門段階で身につけるべき基礎力を短期間で効率よく身につけるのに最適です。特に短期合格を目指している方々には推薦したいと思います。



2015年司法試験合格者  
(法科大学院未修者コース出身)

M.Kさん

- 法科大学院修了後、基礎固めの重要性を痛感し原孝至・基礎講座を受講
- 日本大学法科大学院(未修コース)修了



### 基礎講座を完璧にすれば、 自分なりの法的思考で妥当な結論を導けるようになる。

#### 1 原基礎講座受講のきっかけ

私は、2回目の受験で司法試験に合格することができました。確かに、1回目の受験の際も、短答試験を突破するくらいの力がありました。しかし、私は、この時点で応用の講座ではなく、敢えて基礎講座を受講することを選んだのです。その理由は、**司法試験に合格するためには、応用問題に対する判例を知っているよりも、法的基礎知識の部分をしっかり固めておくことが重要と考えた**からです。そこで、辰巳刊行のテキストや問題レジュメがついており、法学基礎知識を網羅的に短期間で学び直せる、原先生の基礎講座を受講することにしました。

#### 2 司法試験と基礎講座

司法試験では、今まで考えたこともないような未知の問題が出題されます。このような問題へ対処するために、応用的な勉強をするのも一つ的手段であると思います。しかし、得られる知識の量は無限にあり、これら全てを勉強しようとするのは、非常に困難です。

一方、**基礎知識を完璧にしたならば、法律の趣旨に立ち返り原則を押さえることで、自分なりの法的思考で妥当な結論が導き出せるようになります。**

実際に、私自身の本試験での経験でも、試験に出たと言われた判例を知らず、しかも判例と逆の結論を出してしまった問題もありました。それでも、合格点を取ることができたのは、基礎原則から法律論を導き、論理的で妥当な結論を導けたからだと思っています。

#### 3 原先生の基礎講座

原先生の基礎講座では、毎回、穴抜きの答案がついた事例問題レジュメがついています。このレジュメの穴抜きされているところを埋めることによって、重要キーワードを効率よく暗記し、学ぶことができました。また、参考答案を真似ることにより、三段論法による法律答案の書き方を身につけることができました。この事例レジュメについては、講義で原先生が解説して下さるので、継続して問題に取り組むことができ基礎力を大いに伸ばすことができました。

原先生は、基礎知識をわかりやすく丁寧に解説して下さるのはもちろんのこと、現在の司法試験の主流とされる考え方や多数派受験生がとる考え方など、司法試験合格のためには欠かせない知識についても講義内で言及してください。これは初学者にとっては、そのまま受験に使える知識であり、既学者にとってはまさに「今」の司法試験を知ることができるものです。

4 以上のように、**私にとって1回目の受験と2回目の受験で合否をわけた大きな理由は、原先生のもとで、短期間で基礎知識を丁寧に学びなおしたことにあります。**そのため、初学者の人は早い時期から基礎知識をしっかり身につけること、受験間近の人は今からでも基礎知識を学びなおすことを強く勧めます。



2015年司法試験合格者  
(法科大学院未修者コース出身)

S.Yさん

- 法科大学院未修2年目に原孝至・基礎講座を受講
- 日本大学法科大学院(未修コース)修了



私がこの講座を利用したのは、2年次のときでした。**1年間法科大学院の授業で基礎を固めるつもりでしたが、授業だけでは十分に学習することができていないと思ったため、改めて1から学習し直すつもりで受講しました。**

講座の内容は、正に基礎講座の名にふさわしいものでした。法律を全く勉強したことのない人も対象にしているため、「基本の『き』」からわかりやすく教えていただけます。法科大学院で1年間法律の勉強をしていた私にとっても、理解できていない部分を埋めることができました。

また、講義レジュメでは具体的事例を用いた応用問題も扱われていますが、基礎レベルの知識で解くことができる箇所が穴埋め形式となった答案を使用する等、工夫されています。応用問題の答案を読みつつ、穴埋めをしながら講座が進行されます。

これにより、必要な基礎的事項を、書くことによってしっかりと固めつつ、答案を読むことによって事例問題解答の大枠もつかめることができるため、非常に効率よく学習することができました。

**基礎力を十分に身につけることができると同時に、応用力の大枠も身につけることができる、非常に効率のよい講座だと思います。**1年次に十分身につけることができなかった基礎力を、この講座で身につけることができたことは、合格に直結したと思います。



2015年度法科大学院入試合格者

M.Kさん

- 学部2年時に原孝至・基礎講座を受講
- 合格法科大学院  
中央大学法科大学院既修者コース(全額免除)  
早稲田大学法科大学院既修者コース  
慶應義塾大学法科大学院既修者コース



授業内容は、法科大学院に合格した今振り返ってみても決して基礎のみに徹したものではなく、踏み込んだ内容についてもとり扱っており、**実際に法科大学院の入試で何度も本講座を受講した成果に助けられました。**印象としては、基礎を全般的に触れていくというよりは、**試験との関係で重要であるとされる個所を基礎から応用まで丁寧に解説して下さる**という感じでした。確かに網羅的に法律知識を身につけることは大事だと思いますが、法科大学院入試ひいては司法試験との関係においては、これらの試験が実務家登用試験であるということや、勉強時間の制限があることから鑑みると、このように所要所を押さえて勉強することが肝要であると考えます。そのため、原先生の基礎講座は漠然としていて全体像が掴みづらい法科大学院入試、司法試験の導入には最適であると考えます。

原先生は実務家としても非常に活躍なさっている方です。そのため、プライバシー等の権利に抵触しない範囲で、先生が実際に体験した実務内容について授業でお話していただけます。これは、法曹になった後のことについてあまり知らない人々にとっては勉強の大きなモチベーションになると思います。

原先生の授業はとてもしんどいです。なぜなら、先生の一つ一つの言葉すべてに意味があるため、聞き逃していいことがほとんどないからです。この講座は、**意識が高ければ高いほど吸収できることが多く、飛躍的に成長ができます。**先生の授業の質に負けない高い意識を持って授業に挑んでください。